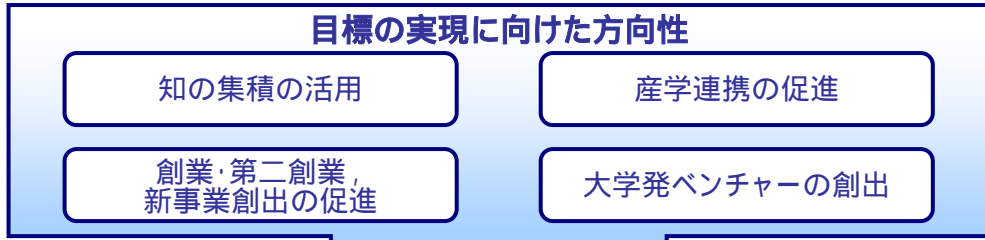
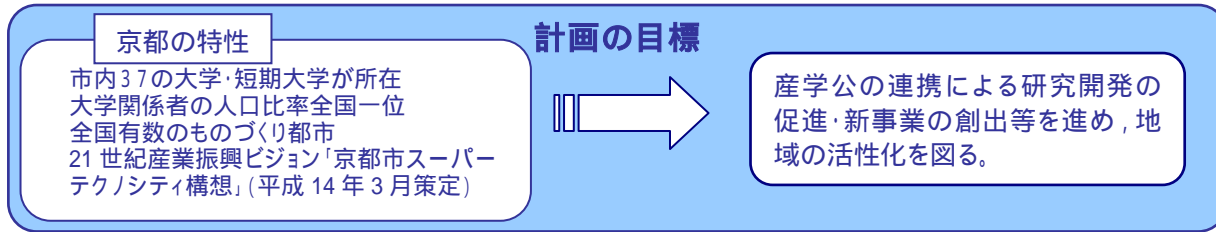
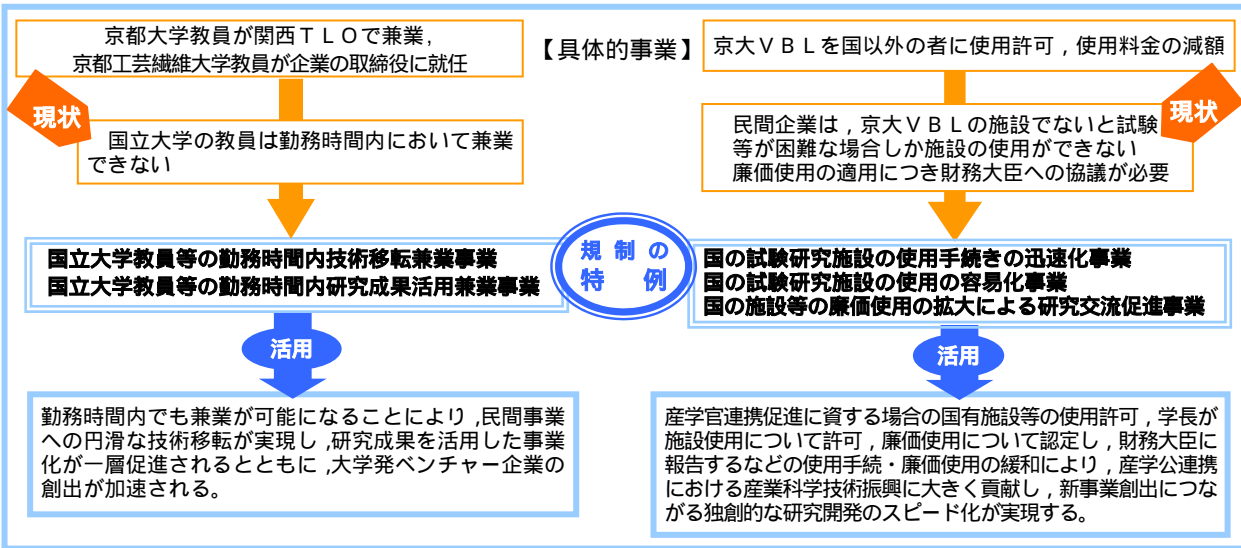


知の創出・活用特区(平成15年4月認定)

* 区域の範囲 = 京都市の全域



スーパーテクノシティ・京都の実現



~ 本特区において実施する特定事業の関連する本市の取組 ~

京都バイオシティ構想

本市に集積するバイオテクノロジー分野の先進性・優位性を生かし、産学公連携
により京都の強みをいかした新産業分野として打ち出し、京都発展のための産業政
策、都市戦略とするための構想。

重点3分野

- 医学と工学の融合分野(最先端技術の研究開発と事業化)
- 環境分野(生物機能を活用した循環産業システムの構築)
- H14地域新生コンソーシアム研究開発事業「バイオマス繊維/生分解性プラスチックの界面活性剤複合材料の開発」
- 生分解性プラスチック魚箱を活用した社会実験
- 地域資源活用分野(蚕を活用した有用物質生産等)

バイオベンチャーへの支援: バイオVIL(5室), 酒蔵バイオVIL(8室)
バイオ産業技術フォーラムの設置

京都ナノテク事業創成クラスター

京都市域においては、ナノテクノロジーを「ものづくり都市・京都」を形成する
基盤核技術と位置づけ、産学公の有機的な連携と知の結集により、電子デバイス、
医療・バイオ・繊維、IT等の分野での新事業創成を図る。

文部科学省事業(H14年度~, 5億円×5年間 事務局: 叻京都高度技術研究所に設置)
産学協同研究
ナノテククラスターフォーラムの開催
ナノテクノロジーに関する情報交換、技術交流等を実施する産学公交流組織「KY-NANO会」(会員数250名)の設置

桂イノベーションパーク構想

京都大学桂キャンパスの隣接地を「桂イノベーションパーク」と位置づけ、「京都
ナノテク事業創成クラスター」をはじめとする産学公連携による新産業の振興拠点
として整備する。

研究成果活用プラザの設置(平成15年1月設置決定, 平成16年3月開設予定)
大学連携型インキュベータの設置(平成14年12月設置決定, 平成16年度中に開設予定)